



遺産登録に向けた取り組みや府道の整備などで連携しています。

Q05 ちりめん街道に移住者の方がカフェを開業された。ちりめん街道は与謝野町の観光の起点であり、地元や行政も具体的なアクションを起こす必要があると思うが、まちの考えは。

A ちりめん街道で移住者の方がカフェを開業されたことは画期的なことなので、行政や地域も応援をしていくことが重要と思っています。

Q06 子どもたちの居場所づくりを含め地域共生社会をつくりあげる必要があると思うが。

A 昨年度から小学校と家庭以外居場所をつくるため、キッズステーション事業を開始

多くの「キッズステーション」を形成していきたい

し、岩屋区や後野区、男山地域のNPO法人や地域住民の方々が取り組まれています。今後、一つでも多くのキッズステーションを形成していきたいと考えています。

Q07 京の豆っこ肥料が不足し、改善すると言いつながら2年が経過している。

A 京の豆っこ肥料の原材料である魚のあらとおからの確保が難しくなってきたことが、供給が追いついていない原因の一つです。まずは原材料の確保に務めます。

Q08 配布資料に織物業の人材確保の取り組みがあるが、人材が足りていないと理解したらよいか。

A 事業を継続したくても後継者がいない、法人化して販路拡大をしていく中で織り手を確保できないなどのケースが生じています。

Q09 相談窓口心理カウンセラーを配置する必要があるのでは。

A 心のケアの必要性はコロナ禍で高まっていると認識しています。恒常的ではないですが、臨床心理士の協力を得て相談対応をしています。職員体制は構築で

きておらず、今後、仕組みを検討していきます。

Q10 町の歳入を増やすと期待される「ふるさと納税」の実績は。

A 令和2年度決算で約4700万円の寄付があり、制度発足後、最高額となりました。全国的に人気がある返礼品は肉と海産物であり、与謝野町では昨年の12月から海産物を取り扱っています。令和2年度決算では効果が表れていませんが、令和3年度に期待しています。

Q11 令和2年度から与謝保育園はかやこども園に、与謝小学校と桑飼小学校は加悦小学校に統合されたが、統合後の検証はされているのか。

A 保護者の方からは統合してよかったと聞いています。また、教員の心配も杞憂に終わる部分が多く、子どもたちはのびのびと活動していると聞いており、今のところはおおむね良好だと検証しています。

Q12 男山区有林付近に粗大ごみや産業廃棄物の不法投棄があり、住民環境課から看板をもらい設置し多少効果はあるが、啓発や不法投棄防止に協力と知恵をい

ただきたい。

A 与謝野町内全域で山間地域での不法投棄があり対応に苦慮していますが、解決策を持ち合わせていないのが現状です。

Q13 区要望で外灯やカーブミラー設置の要望を提出するが、毎年お金がない理由で却下される繰り返しだ。財政がひっ迫していることは理解しているが一緒に考えていただきたい。

A 現在は要望事項に対して簡潔に返答しており、今後はまちの考え方をしっかりお示しするよう対応していきます。

施設管理

Q14 クアハウス岩滝は多額の費用をかけて改修したにも関わらず、何回も不具合が発生していること自体、由々しきことだと思いが。

A クアハウス岩滝は開業から27年が経過し、施設全体の老朽化が進んでいます。大規模改修では住民の皆さんの健康増進を図る施設として、主に施設整備とエレベーターの設置を行いました。今年度も修繕を必要とする設備等が残っているため、指定管理

8 月6日・10日・18日の3日間、加悦・岩滝・野田川地域で町政懇談会を開催しました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、例年より会場と参加者を制限して開催でしたが、延べ80人の皆さんから、町政に関するご意見やご提案、ご質問をいただきました。今回は、町政懇談会であった質疑応答の中から主にまちの施策や計画に関する内容について紹介します。

※ 編集の都合上、実際の応答と一致しない場合があります
※ 回答は町政懇談会時点のものです

町政懇談会 Q & A

皆さんの疑問にお答えします。



まちじいじ

Q01 財政の健全化は物・人・サービスタだと思う。人の面で総労働時間と総人件費の抑制、行政機構の最適化計画が具体的に示されていない。また、一部の人・団体・事業者に対し、毎年のように補助金や助成金が支出されているが、財政改革のためには絞り込んでいくべきだと思う。

A 3月に作成した「与謝野町財政計画」に3つ課題を記しています。「大型の投資等による歳出規模が増大していること」「下水道会計への繰出金が多額に上っていること」「公共施設あり方の最適化」です。まちの財政を持続可能なものにするために、これらの課題を解決していくことが重要と考えています。また、第3次行政改革大綱では、職員の適

まちの財政を持続可能なものに

正化計画を作ることを掲げています。補助金については、事業所向けや個人向けなどが多くあり、減らせないのが現状です。新たに創出する補助金は、終期を決めて一定の効果が出たら廃止することとしています。

Q02 まちに仕事があると若い人にUターンしてもらいやすくなると思うので、若い人が帰ってきてやすい施策をお願いしたい。

A 移住定住者の増加は、会社を運営されている立場、地域を構成する立場でも重要なことであり、できる限り進めていけるように努力していきます。

Q03 与謝野町過疎地域持続的発展市町村計画の最大の目的は何か。

A 目的は弾力的で有利な財源確保や税制優遇措置等を受けるためです。

Q04 自治体により支援制度が異なるので、2市2町（宮津市・京丹後市・伊根町・与謝野町）の連携が必要ではないか。

A 京都府北部の5市2町で北部地域連携都市圏を形成し、観光・公共交通・防災等で連携を進めています。また、宮津与謝の1市2町では、天橋立を世界